



テーマ 働く女性をサポートしよう



ナイトサービス利用中の織田さん

ナイトサービスを利用して

利用者家族 織田 律

サンビレッジのデイサービスを利用して二年余り。今では週四日。また六月からナイトサービスが始まり、夜七時半まで二日間お願いしています。サービスを利用する前は、祖母を看られる家族がいながら面倒を看ないで頼ることは、介護から逃げ、自分が楽をしたいただけではないか、また、祖母に対してはかわいそうな思いをさせるのではないか、そして世間の人々の目も気になる複雑な心境でした。しかし、常に一緒にいることは私だけでなく母も疲れ切って祖母に接することになり、もつと悲しい思いをさせていることに気づいたのです。

私は自宅で週二日仕事をしており、この日は必ず家にいますが、その他の日に仕事の講習があったり、家の雑用でどうしても外出することが多くなります。デイの時は外出しても三時半までに帰ってこなければならぬのでゆつくりというわけにはいきません。ナイトにお世話になってからは、一日が有効に使えるようになり、また、祖母も夕食を済ませて帰ってくるので、気持ちにも余裕ができました。家では、母や私、子供たちがただ側にいるだけでなかなか相手をすることができませんが、苑に行くとき祖母のいろいろな表情を聞くことができ、本当によかったと思います。その結果今の仕事も続けられ、自分の時間がもてるようになりました。

祖母が私たちを大切に育ててくれたことに感謝し、今、そのお返しができるば、そして福祉サービスを活用することで、心にゆとりを持って自分が納得でき、自分にも満足できる介護を快くしたいと思います。

働く女性をサポートします。

総合ケアセンターサンヒレッジ
施設長 太田 澄子

デンマークへ研修に行った15年前、出産したママは働き続け、パパが育児休暇をとっているという家族に出会いました。二人の子供を楽しそうに子育てしている男性、「行つてきます」と会社へ行く女性。不思議な気持ちでした。

大型のバスを運転する女性ドライバーはその資格をとり、高級所得者のようですが、それのない男性はずっと同じ仕事で安く働くそうです。それで生活はどうなるのだろうか。と理解できないままに日本に帰ってきました。その後、男だから、女だからというのではなく、社会貢献するために必要な資格を持ち、何ができるのかを問われる社会だったという事に気づきました。

日本でも就職希望者がどこの大学を出たのかではなく、

この会社で何が出来るのかが問われる時代になってきております。

遅ればせながら男女雇用機会均等法や育児・介護休業法も適用され、女性の社会進出も普通のことになり、役職付きの女性も特別ではなくなりました。

女性が多数働く我々の職場も国家資格を取り、一生働きたいと希望する若い職員も増えてきました。現場では人生半ばに起こる結婚、育児、あるいは介護という事態をどう乗り切るか、が課題となっています。

平均寿命が伸び、少子化が進む現代において、それは財源と人手の減少を意味します。誰かが何かをしてくれるのではなく、デンマークのように自分たちがどうするかが問われる社会です。経済を活性化するため、また自己実現を果たす為に、高齢者も女性もどんどん社会参加して、どんなことでもいい、社会の中で役割を持つことが生きていく意義に繋がると思います。そ

の時、介護のために社会へ出る事が困難な女性のために、我々社会福祉の現場で出来ることをサポートしようと、福祉サービスを考えています。デイサービス、ナイトサービス、ショートステイサービス、アセスメントサービス、ホームケアサービス、配食サービス、洗濯サービス等、ぜひ一度ご相談ください。

ナイトサービスを ご存じですか？

地域部長 久野 美智江

ナイトサービスとは夕方からご利用いただく3時間、4時間の介護保険適用の通所介護サービスです。その方のプランに添って介護専門スタッフが夕食・入浴・レクリエーションなどのサービスを行います。就寝前にお送りするサービスです。

お年寄りの方は、自宅に戻られたら寝ていただくだけで

ですので、ご本人もご家族の方もとてもゆつたりのおんびりできるサービスです。

日中のデイサービスからそのまま続けてご利用することもできます。また、ナイトサービスだけをご利用になることもできます。

家族の方にとって、デイサービスだけでは早く帰宅しなければと日々余裕がありません。介護者の方々は女性が多い現状ですが、夕食の準備、子供さんの塾への対応や、仕事での残業や町内での会議等、そして介護と幾つかの役割を担っておられます。

お年寄りの方にとっても、独りでの夕食は食が益々進まなかったり、夕方からウトウト居眠りをする事で夜中の不眠に悩まされたりなど、個々の不安があります。

ナイトサービスを上手に利用していただき、お年寄りの方も安心、それと同時にご家族の方も介護疲れを蓄積しないで、仕事も家族もスマーに両立していただくことをお勧めします。

「働く女性へのサポートづくり」アンケート結果

今回「働く女性へのサポートづくり」というテーマから在宅で介護と仕事をしている女性の皆様にアンケートを行い応えていただきました。

池田町在宅介護支援センター ケアマネージャー 桜田りえ

- 1.ほっとするひとときはありますか? はい…13名 いいえ…4名
- 2.夜の会議やクラブ活動等に安心して参加できますか?
はい…8名 いいえ…9名
- 3.疲れた時や病気のとき介護を助けてくれる人はいますか?
はい…9名 いいえ…8名
- 4.デイサービスを利用して満足していますか?
満足…12名 まあまあ…5名 不満…0名
- 5.こんな不満はないですか?
 デイサービスの送迎時間が不満…4名
 デイサービスの時間帯が短い…8名
 ショートステイの日にちが合わない…1名
 その他 ・本人の意向(気持ち)が合わない。本人が外に出たがらない。
 ・緊急の場合すぐに利用できるという。
- 6.介護と仕事の両立する上で困っていることはありますか?
はい…7名 いいえ…10名
- 7.6で困っている点
 ・急用ができた時の対応が困る。
 ・自営業であるが大丈夫かと覗きにいており心が休まる時がない。
 ・体調が急に悪くなってサービスを利用できなくなっても、急に自分の仕事が休めない。
 ・時間が足りないため、自然と寝不足になり疲れがたまる。
 ・仕事で休みがとれず母がひとりになる時が心配。
- 8.ナイトサービスを知っていますか?
はい…10名 いいえ…7名

皆様は、このアンケート結果から何を感じられますか。介護と仕事を両立することは一昔前までは考えられなかったことですが、現在は介護保険のサービスが数多くのお嫁さんや娘さんをサポートしています。

しかし、まだまだアンケートからも分かるように多くの課題があります。「急用が出来た時も利用できないかしら?」「お義母さんの体調が悪いのに会社を急に休めないわ」……こんな時は是非、担当のケアマネージャーにご相談下さい。

例えばショートステイの利用やヘルパーが巡回することが出来ます。看護師が体調の確認に伺います。日曜日もデイサービスがあり、その間に用事を済ませたり家族揃ってのお出掛けが出来ます。残業や夕方のあわただしさを解消するにはナイトサービスがあります。その他のサービスも、上手

に組み合わせることで、安心して介護と仕事の両立が図れるのです。緊急時でも、ショートステイ、デイサービスに空きがある場合もあります。是非ケアマネージャーにお問い合わせしてみてください。

私たちは、働く女性をサポートする為にも、多機能のサービスの必要性を県や厚生労働省に提言していきますので、これからも皆様の声をお聞かせ下さい。



ナイトサービス中、ソファでくつろぐ皆さん

ホームケアサービスの紹介

五体満足の人が、病気となり入院して障害を持ち、オムツになり、車イスの生活となる。その状態でも退院を余儀なくさせられてしまうといった現実があります。家族、本人はその現状を受け止めることは難しく、家での介護もたいへんです。「ホームケアサービス」はそんな不安を抱いておられるご家族の皆様のためにあります。

施設の専門職員がその方の身体能力などを評価し、適切な介護方法のアドバイスと、効果的な在宅サービスの活用を紹介するなど、施設がサービスを提供する中で、いかに健康な時の状態に近づけ、家でくらすことができるかを病院と自宅とのパイプ役となり、在宅復帰を支援いたします。



お問い合わせ先

総合ケアセンター サンビレッジ

担当者:施設部長 大窪

〒503-2417 揖斐郡池田町本郷1501番地

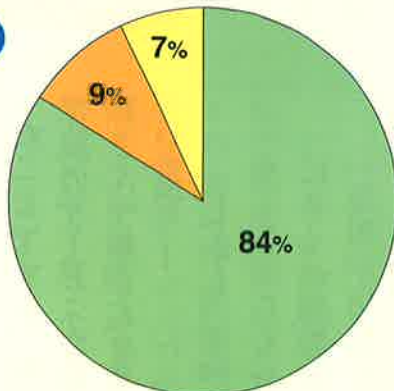
TEL 0585-45-5545、45-6786

FAX 0585-45-7131

介護事業収支

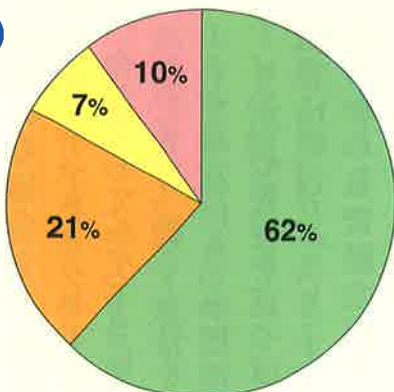
(単位:千円)

収入



■ 経常活動 ■ 財務活動
■ 施設整備等

支出



■ 経常活動 ■ 財務活動
■ 施設整備等 ■ 当期資金収支差額

勘定科目		金額	
経常活動による収支	収入	介護保険収入	964,001
		利用料収入	2,801
		事業収入	10,860
		経常経費補助金収入	600
		寄付金収入	1,951
		雑収入	4,660
		借入金利息補助金収入	399
		受取利息配当金収入	224
		経理区分間繰入金収入	235,000
		経常収入計	1,220,496
	支出	人件費支出	487,597
		事務費支出	48,003
		事業費支出	134,971
借入金利息支出		7,419	
	経理区分間繰入金支出	235,000	
経常支出計	912,990		
	経常活動資金収支差額	307,506	
施設整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入	136,604
		施設整備等寄付金収入	82
		施設整備等収入計	136,686
	支出	固定資産取得支出	299,693
		施設整備等支出計	299,693
	施設整備等資金収支差額	-163,007	
財務活動による収支	収入	借入金収入	63,119
		借入金元金償還補助金収入	1,730
		積立預金取崩収入	33,218
		その他の収入	2,351
	財務収入計	100,418	
	支出	借入金元金償還金支出	27,807
		その他の支出	69,857
		財務支出計	97,664
財務活動資金収支差額		2,754	
	当期資金収支差額合計	147,253	